

第2編 男女共同参画中生意識調査

I. 調査方法

調査対象：市内の市立中学校の2年生

有効回収数：400人（女性196人 男性170人 無回答34人）

実施期間：平成29年10月1日～平成29年10月31日

II. 調査結果のまとめ（集計・分析）

1. あなた自身について

<集計・分析>

- ・男女の割合は、女性の方がやや多い。

2. 男女平等と性別役割分担意識について

（男女平等の意識）

- ・「家庭科は、男子より女子のほうが得意である。」は男女とも肯定的である。
- ・「体育は、女子より男子のほうが得意である。」は男女とも肯定的だが、男性の方が高い。
- ・「学級代表や委員会の委員長は、女子より男子のほうが向いている。」は男女とも否定的である。
- ・「教室のそうじや整理整頓は、男子より女子のほうが向いている。」は男女とも肯定的である。
- ・「いろいろな場面で、男子より女子のほうが甘やかされている。」は女性は否定的だが男性は肯定的で、意識に差がある。
- ・「いろいろな場面で、女子より男子のほうが期待されている。」は男女とも否定的である。

（家庭でのお手伝い）

- ・家庭でのお手伝いについて、女性の方が多くの項目で男性よりも手伝う割合が高い。

(家事の分担)

- ・家事は「男の人と、女の人がどちらも協力してやるのがよい」は女性7割、男性6割で、男女共同参画意識が育っている。

(男の子、女の子だから〇〇しなさいの経験)

- ・「男の子だから〇〇しなさい」や、「女の子だから〇〇しなさい」と言われたことでは、女性は7割で、男性の4割に比べてかなり多い。

(男の子、女の子だから〇〇しなさいの経験－①言われる内容)

- ・女性は印象や見た目が求められ、男性は強さや勉強が期待される傾向がある。

(男の子、女の子だから〇〇しなさいの経験－②言う人物)

- ・男女とも「母」が最も高く、8割程度占めている。

(男の子、女の子だから〇〇しなさいの経験－③気持ち)

- ・女性は肯定的に捉えている割合が高く、男性は言われたことを否定的に捉えている割合が高い。

(男女平等の状況)

- ・家庭生活や学校教育の場では平等としているのは、男女とも5割程度を占めるが、社会全体の場では男女とも3割に満たない。

(家庭での男女の役割分担)

- ・「男は仕事、女は家庭」という考え方は、女性は否定の方が高く、男性は肯定と否定が拮抗している。

(女性が職業を持つこと)

- ・女性が職業を持つことに対して、女性は将来にわたって職業を持つことを肯定的に捉えている割合が5割を占めるが、男性は2割程度であり、「どちらでもよい」が4割を占めている。

(女性が職業を持つこと－①肯定的回答の理由)

- ・女性も職業を持つことで自立した方がよいと思う割合は、男女とも低い。

(女性が職業を持つこと－②否定的回答の理由)

- ・女性は、男性よりも家庭を前提として仕事を捉え、両立の難しさを感じている。

(将来の職業選択)

- ・女性は命や人に関わり、お世話をする職業の選択が多く、ジェンダー意識が反映されている。

(将来の職業選択―①選択できない理由)

- ・男女とも「これから先どのようなことに興味をもつかまだわからないから」が3割を占め最も高いが、女性は同じ程度に「やりたい仕事はあるが、できるかどうか自信がないから」を挙げている。

3. 用語について

(男女共同参画に関する言葉の認知率)

- ・男女とも「セクハラ (セクシュアル ハラスメント)」、「DV(ドメスティックバイオレンス)」の認知率は高いが、「JKビジネス(ジェイケイ ビジネス)」、「性別役割分担意識」、「男女共同参画社会」の認知率は低い。

4. デートDVについて

- ・「デートDV」の認知率は男女とも低い。
- ・恋人との間で起こる事柄についての判断は、「なぐるふりをしたり、刃物を突きつけておどす」、「性的な画像や動画 (写メ) などを勝手に撮ったり SNS などに載せたりする」、「キスや性的な行為を同意なく一方的にする」、「大声でどなる」など、精神的暴力や性的暴力がデートDVとして高く認識されている一方、「自分を常に優先してほしいと言う」、「こんな服を着て」と服装などのチェックや指示をする」など自己中心的な事柄については、デートDVとしての認識が低い。

5. 自分への評価について

(自己評価)

- ・自分を肯定的に捉えている割合は、女性が3割、男性が4割であり、女性の方が低い。また、女性は自分を否定的に捉えている割合が6割を占めている。

(大人からの保護)

- ・「周りのおとなから大切にされている」は、男女とも5割以上を占めているが、「わからない」が3割程度ある。

(相談相手)

- ・男女とも、主な相談相手は「友だち」が最も多く、次が「母」の順である。「父」に相談する割合は女性よりも男性が高い。

6. 自由意見

(生まれた性についての良否と理由)

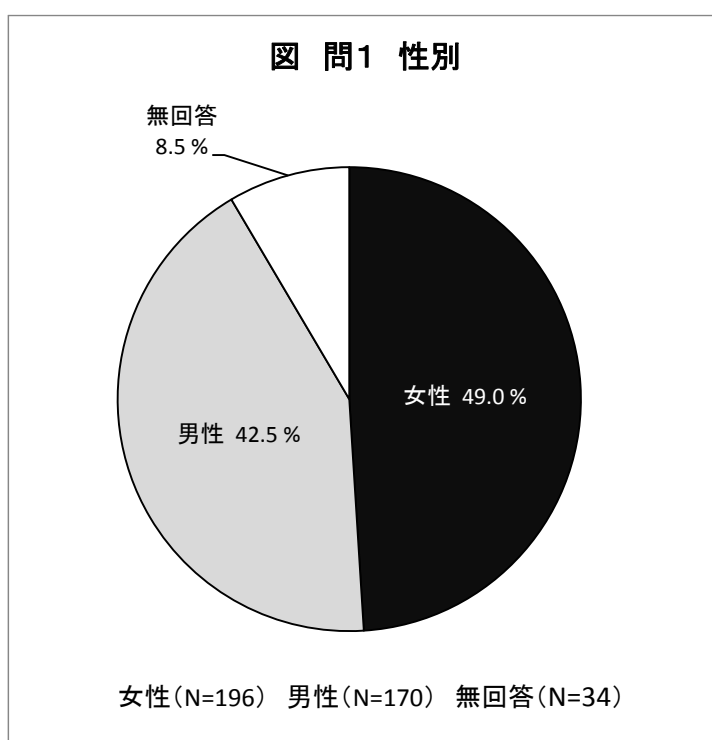
- ・回答者の7割程度の生徒が回答し、そのうち4割程度の生徒が生まれた性について肯定しているが、3割程度は無回答となっている。肯定意見の傾向として、男性か女性かは関係ないとする理由が多い。

Ⅲ. 調査集計結果

1. あなた自身について

問1 あなたの性別を記入してください。

女性 49.0%、男性 42.5%で、女性の方がやや多い。



2. 男女平等と役割分担意識について

問2 次のことについてどう思いますか。

1) 家庭科は、男子より女子のほうが得意である。

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『思う』は、女性が64.3%、男性が66.4%と男女とも肯定する割合が高い。

2) 体育は、女子より男子のほうが得意である。

『思う』は女性が58.7%、男性が70.0%と男女とも肯定する割合が高いが、男性の方が11.3ポイント高い。

3) 学級代表や委員会の委員長は、女子より男子のほうが向いている。

『思う』は女性が18.9%、男性が28.8%と肯定する割合は男女とも低く、女性の方が9.9ポイント低い。

4) 教室のそうじや整理整頓は、男子より女子のほうが向いている。

『思う』は女性が54.6%、男性が57.7%で男女とも肯定する割合はやや高い。

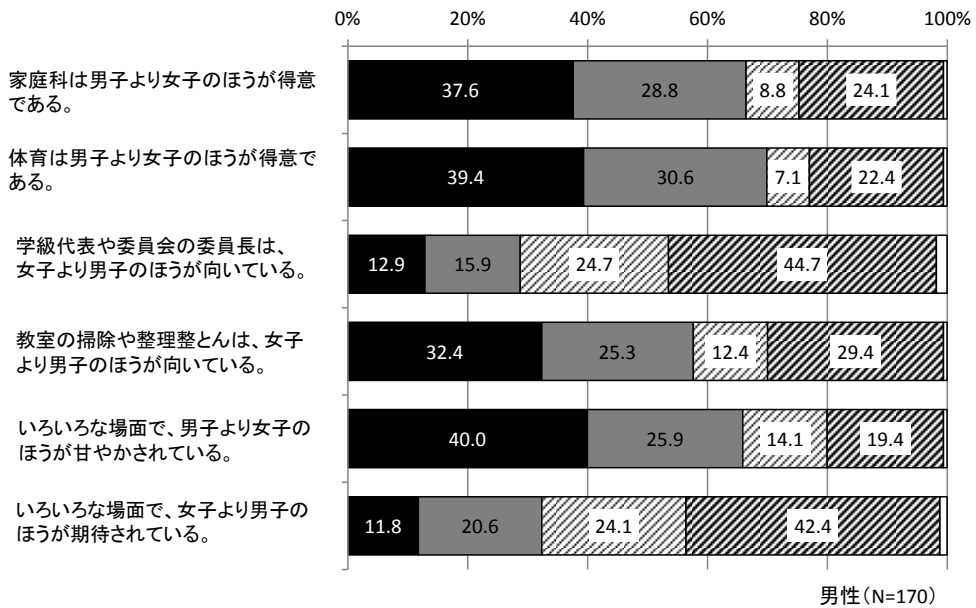
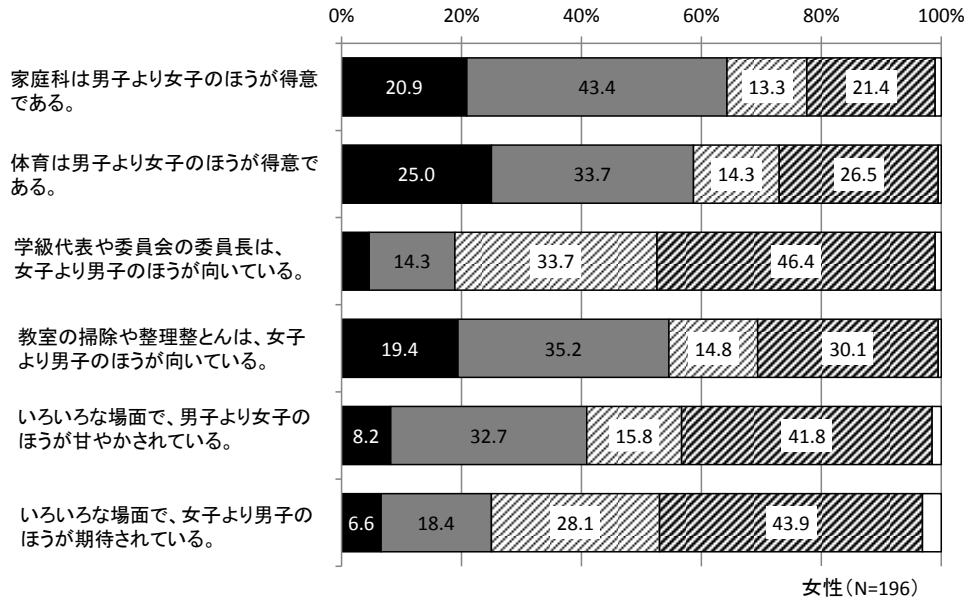
5) いろいろな場面で、男子より女子のほうが甘やかされている。

『思う』は女性が40.9%、男性が65.9%で男性の方が25.0ポイント高く、男女差が大きい。

6) いろいろな場面で、女子より男子のほうが期待されている。

『思う』は女性が25.0%、男性が32.4%と肯定する割合は男女とも低く、女性は男性より7.4ポイント低い。

問2

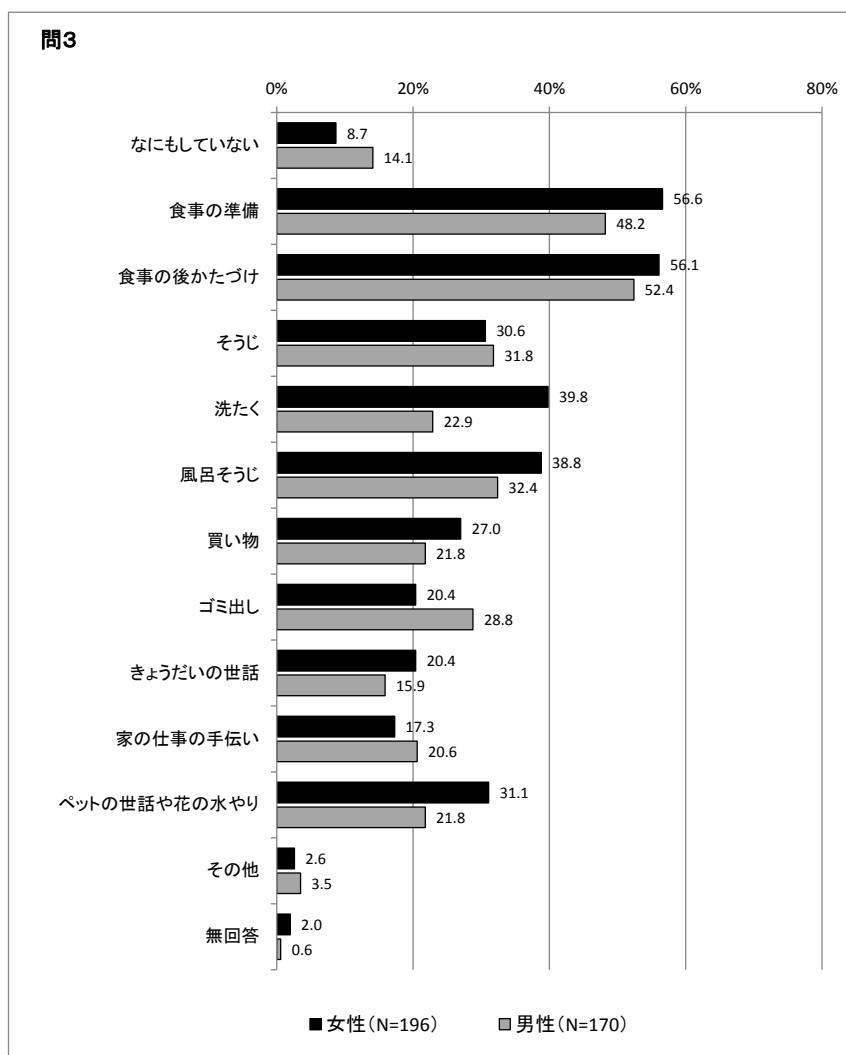


- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- ▨ どちらかといえばそう思わない
- ▨ そう思わない
- 無回答

問3 あなたは家の中で、どのようなお手伝いをしますか。
(あてはまるものすべてに○)

女性は、「食事の準備」56.6%、「食事の後かたづけ」56.1%、「洗たく」39.8%、「風呂そうじ」38.8%、「ペットの世話や花の水やり」31.1%、「買い物」27.0%である。

男性は、「食事の後かたづけ」52.4%、「食事の準備」48.2%、「風呂そうじ」32.4%、「そうじ」31.8%、「ゴミ出し」28.8%、「洗たく」22.9%である。



中学生 問3 その他回答

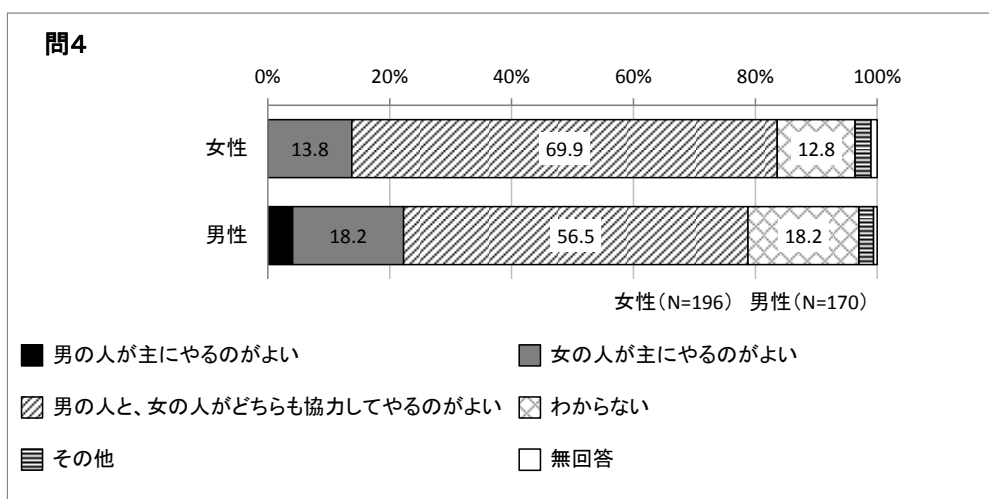
くつ並べ

力仕事

その他5件

問4 あなたは家の中で、食事の準備（お料理）や、そうじ、洗たくのような家事は、誰がやるのが一番よいと思いますか。

男女とも「男の人と、女の人がどちらも協力してやるのがよい」が最も高く、女性 69.9%、男性 56.5%で女性は男性より 13.4 ポイント高い。次に高い「女の人が主にやるのがよい」は女性 13.8%、男性 18.2%で女性は男性より 4.4 ポイント低い。



中学生 問4 その他回答
いそがしくない人がやればいい
おばあさんです
お母さん
だれでもよい
できる方ができることをすればいい
みんなで係をきめて、ぶんたんしてやるのがいい

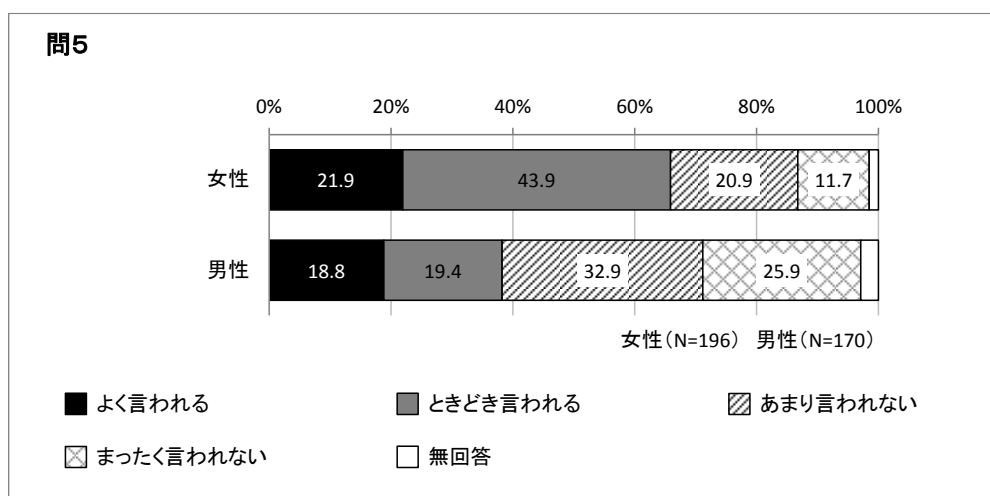
その他 5 件

問5 あなたは、「男の子だから〇〇しなさい」や、「女の子だから〇〇しなさい」と言われたことがありますか。

女性では、「よく言われる」21.9%と「ときどき言われる」43.9%を合わせると65.8%である。

男性では、「よく言われる」18.8%と「ときどき言われる」19.4%を合わせると38.2%である。

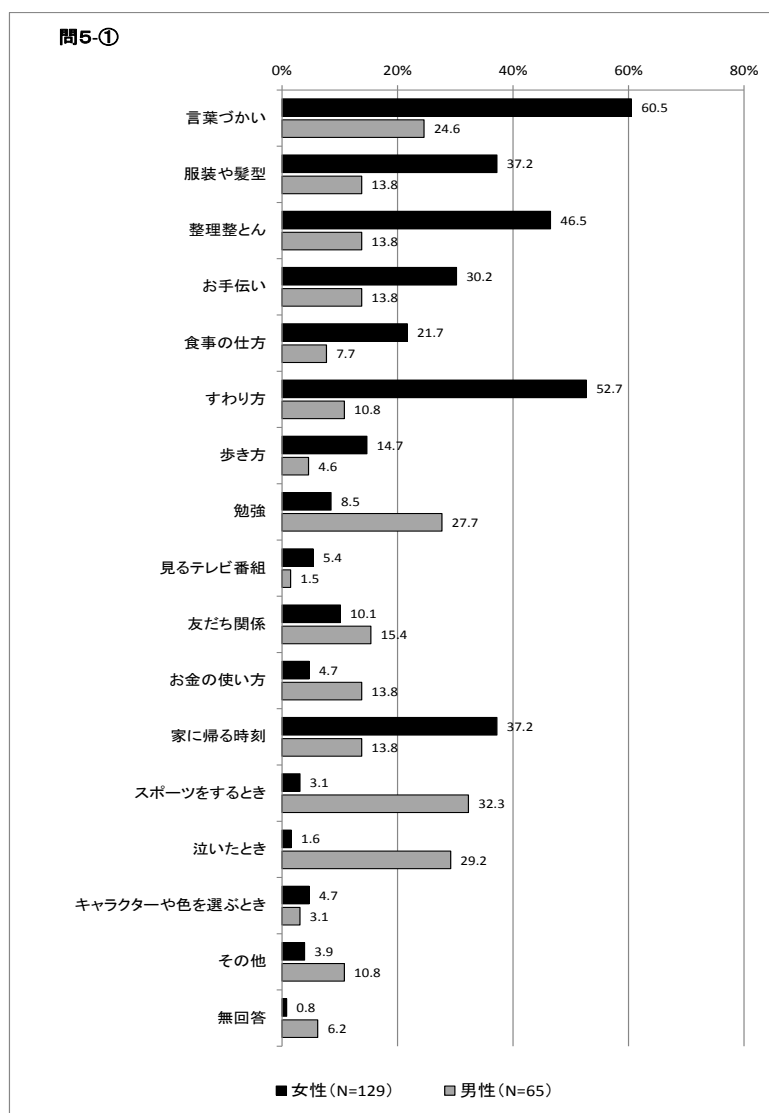
女性は男性よりジェンダーについて言われる割合が27.6ポイント高い。



問5-① どのようなとき、どのような事について言われますか。
(あてはまるものすべてに○)

女性は、「言葉づかい」60.5%が最も高く、次いで「すわり方」52.7%、「整理整とん」46.5%、「服装や髪型」37.2%、「家に帰る時刻」37.2%である。

男性は、「スポーツをするとき」32.3%が最も高く、次いで「泣いたとき」29.2%、「勉強」27.7%、「言葉づかい」24.6%である。



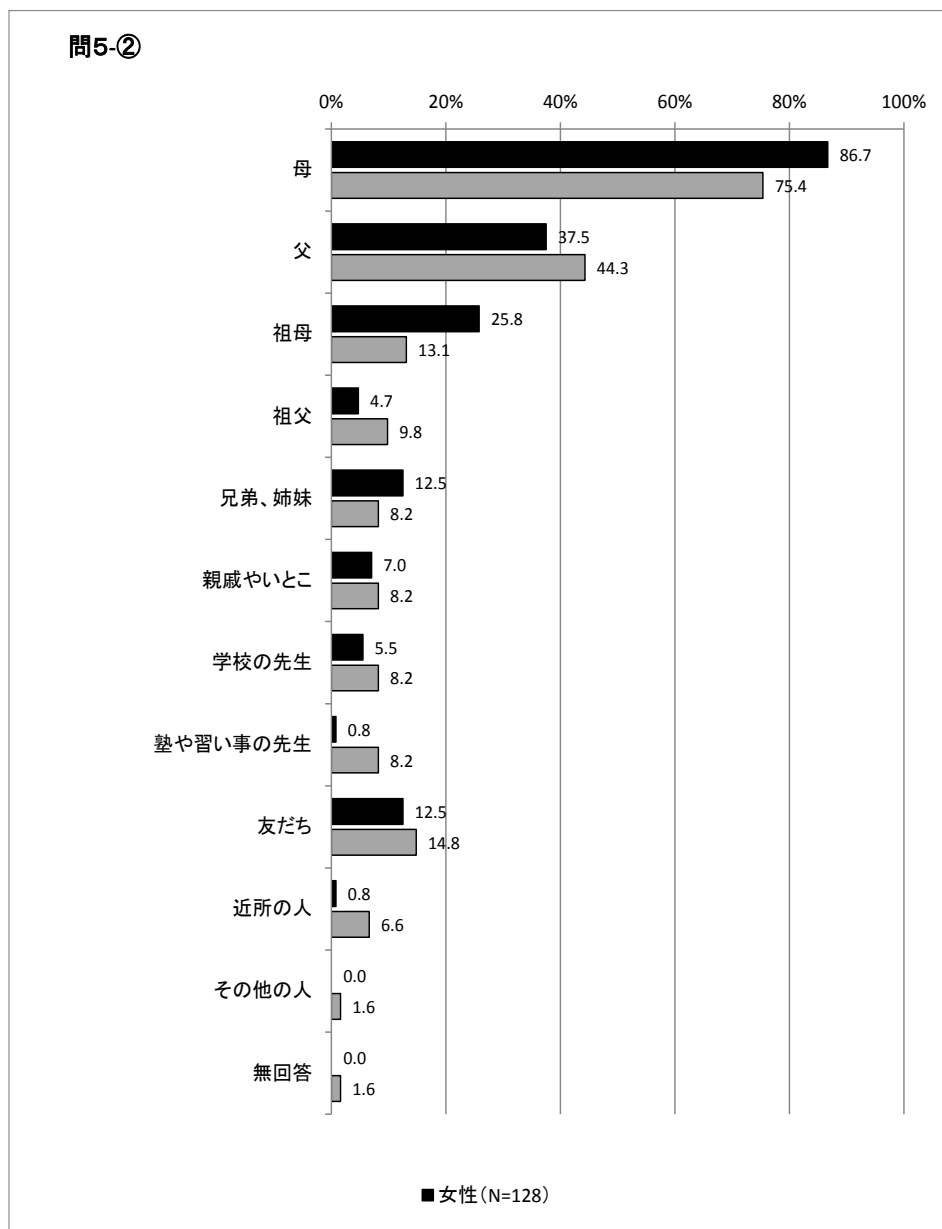
中学生 問5-① その他回答
感情をおさえられず物にあたる
女の子としてはずかしくないように言われている
普通にすごすときでも

その他8件

問5-② それは、誰に言われますか。(あてはまるものすべてに○)

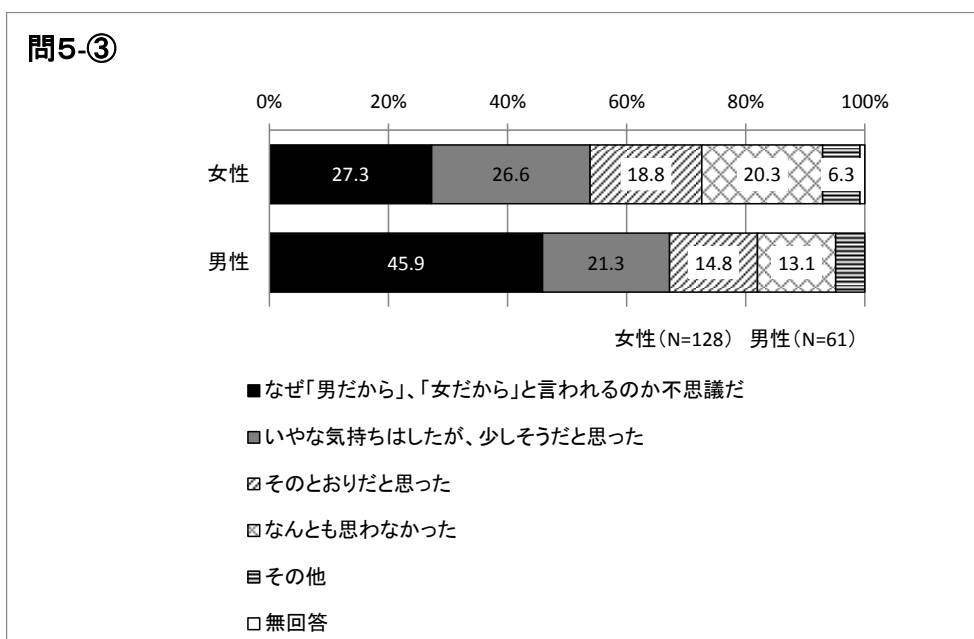
男女とも「母」が最も高く、女性 86.7%、男性 75.4%で、女性は男性よりも 11.3 ポイント高い。次に高い「父」は、女性 37.5%、男性 44.3%で、男性は女性よりも 6.8 ポイント高い。

「母」では女性の方が男性より高く、「父」では男性の方が女性より高い。



問5-③ あなたは、その時どんな気持ちがありましたか。

男女とも、「なぜ「男の子だから」、「女の子だから」と言われるのか不思議だ」という否定的な意識が最も高く、女性が 27.3%、男性が 45.9%となっている。一方で、「いやな気持ちはしたが、少しそうだと思った」、「そのとおりだと思った」を合わせた肯定的な意識も、女性 45.4%、男性 36.1%と高い割合となっている。



中学生 問5-③ その他回答
いみわからんと思った
しかたないけど自分らしくおりたいと思った。

その他 8 件

問6 あなたは、次の場面で男女がどの程度、平等になっていると思いますか。

① 家庭生活の場で

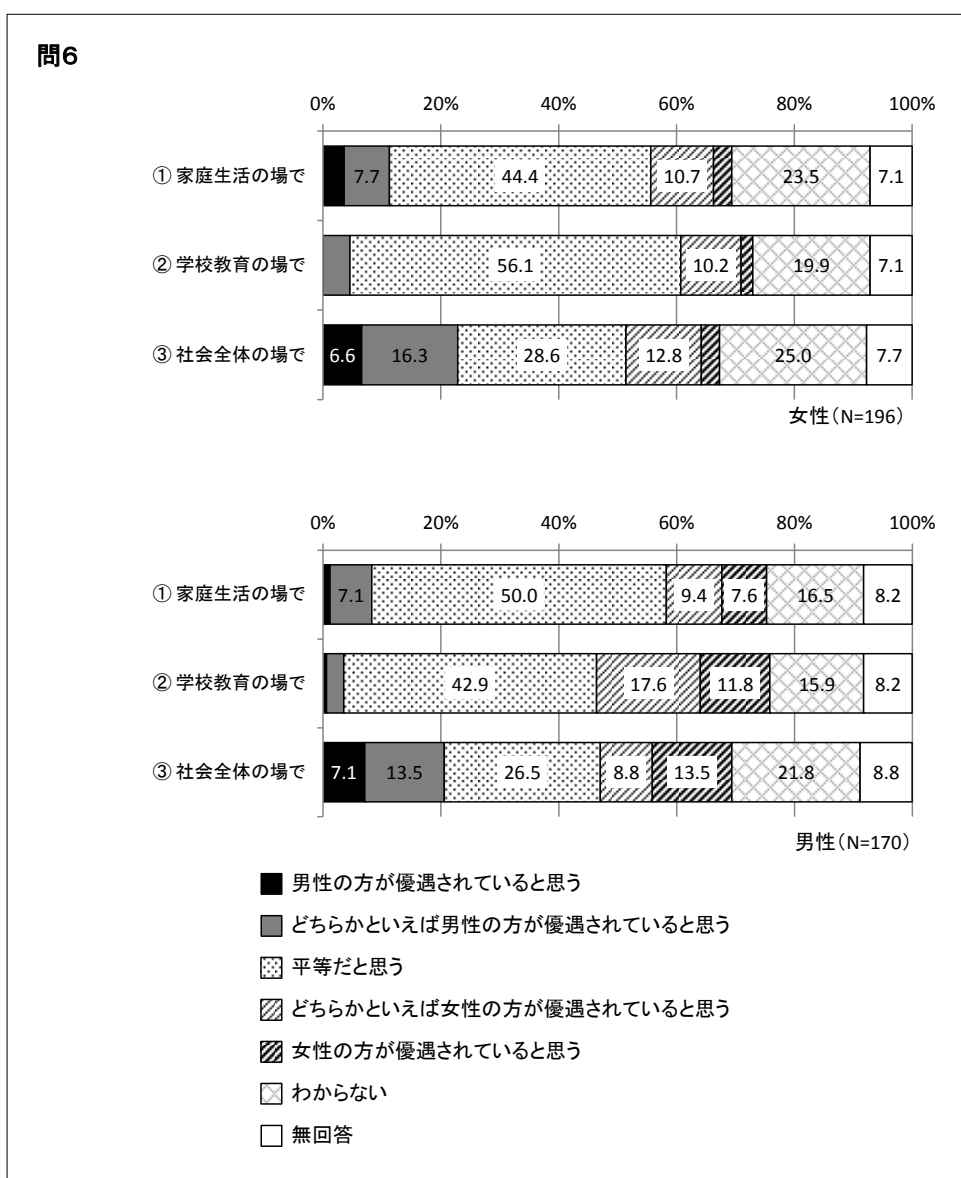
男女とも「平等だと思う」が多く、女性 44.4%、男性 50.0%である。

② 学校教育の場で

男女とも「平等だと思う」が多く、女性 56.1%、男性 42.9%である。

③ 社会全体の場で

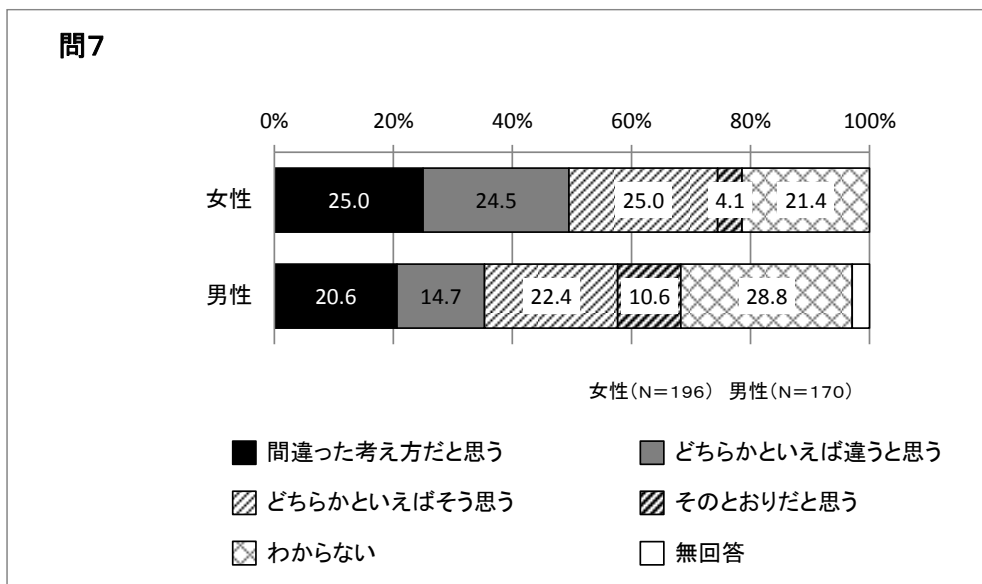
「平等だと思う」は女性 28.6%、男性 26.5%で家庭や学校よりも平等の意識が低く、男女とも「男性の方が優遇」の割合が増えている。



問7 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどう思いますか。

「間違った考え方だと思う」と「どちらかといえば違うと思う」を合わせた否定的な割合は、女性 49.5%、男性 35.3%であり、女性は男性より 14.2 ポイント高い。

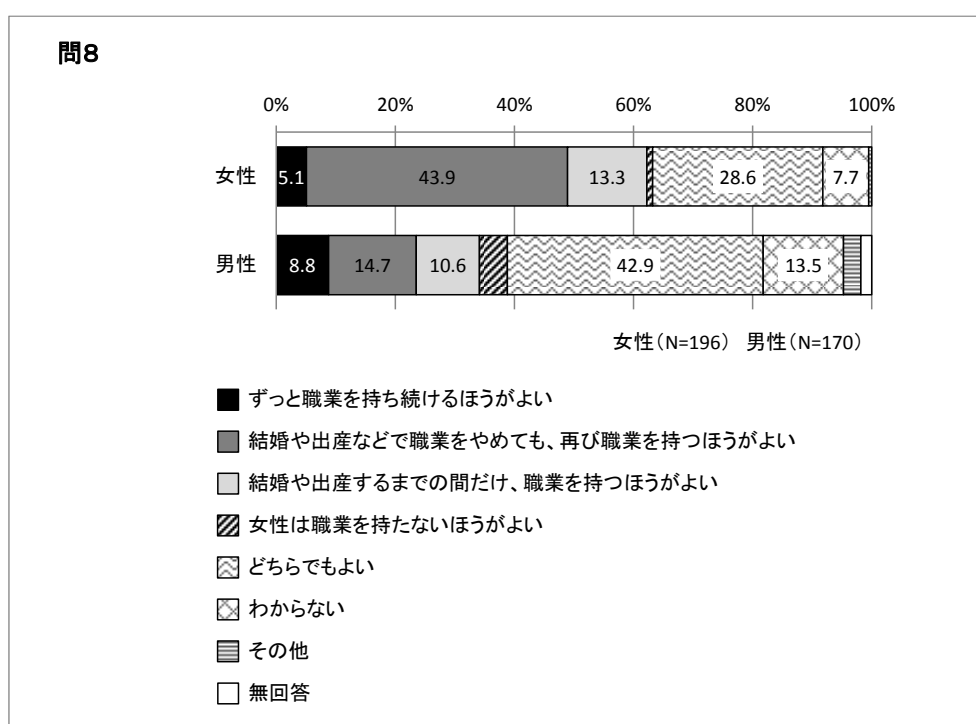
「どちらかといえばそう思う」と「そのとおりだと思う」を合わせた肯定的な割合は、女性 29.1%、男性 33%であり、男女の差はほぼない。



問8 あなたは、女性が職業を持つことについてどのように考えますか。

女性では、「結婚や出産などで職業をやめても、再び職業を持つほうがよい」43.9%が最も高く、次いで「どちらでもよい」28.6%、「結婚や出産するまでの間だけ、職業を持つほうがよい」13.3%となっている。

男性では、「どちらでもよい」42.9%が最も高く、次いで「結婚や出産などで職業をやめても、再び職業を持つほうがよい」14.7%、「結婚や出産するまでの間だけ、職業を持つほうがよい」10.6%となっている。



中学生 問8 その他回答

その人がきめるべきだ。自分は自分できめるべき

個人の自由である

好きなようにすれば良い

その他 5件

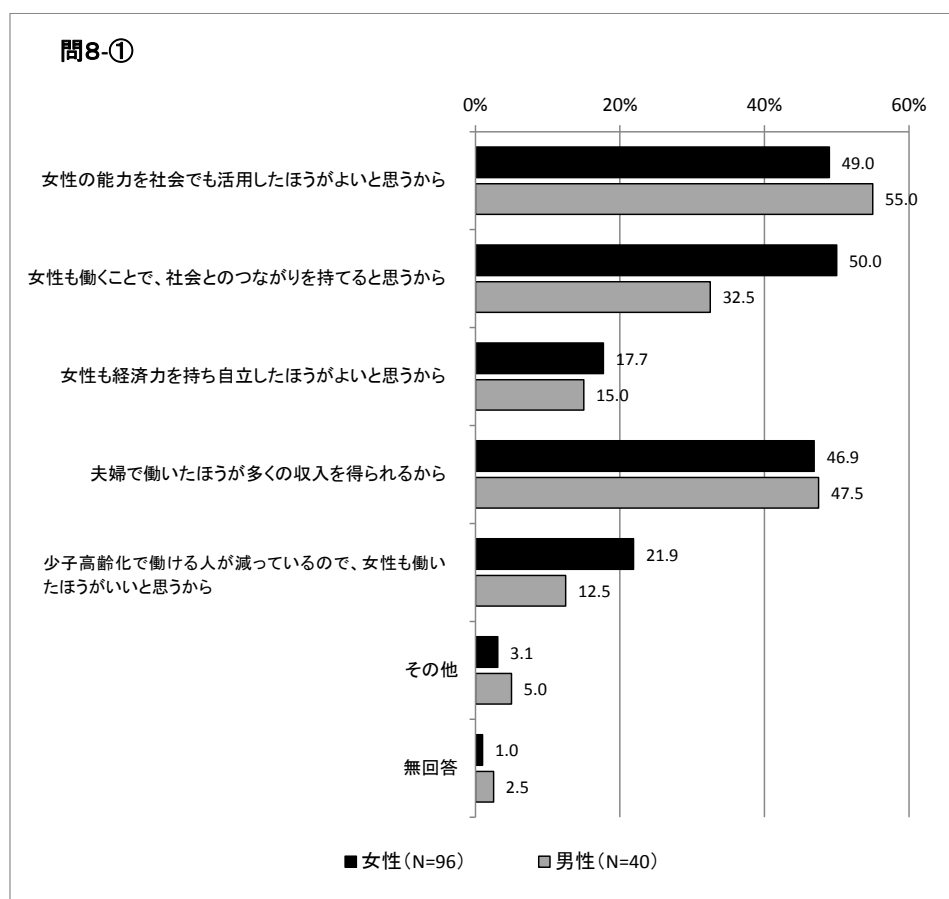
問8-① それは、どのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

【問8で「ずっと職業を持ち続けるほうがよい」や「結婚や出産などで職業をやめても、再び職業を持つほうがよい」と回答した人】

女性では、「女性も働くことで社会とのつながりを持てると思うから」50.0%、「女性の能力を社会でも活用したほうがよいと思うから」49.0%、「夫婦で働いたほうが多くの収入を得られるから」46.9%の3つが主な理由となっている。

男性では、「女性の能力を社会でも活用したほうがよいと思うから」55.0%が最も高く、次いで「夫婦で働いたほうが多くの収入を得られるから」47.5%、「女性も働くことで社会とのつながりを持てると思うから」32.5%となっている。

「女性も経済力を持ち自立したほうがよいと思うから」では、女性は17.7%、男性は15.0%と低い。



中学生 問8-① その他回答

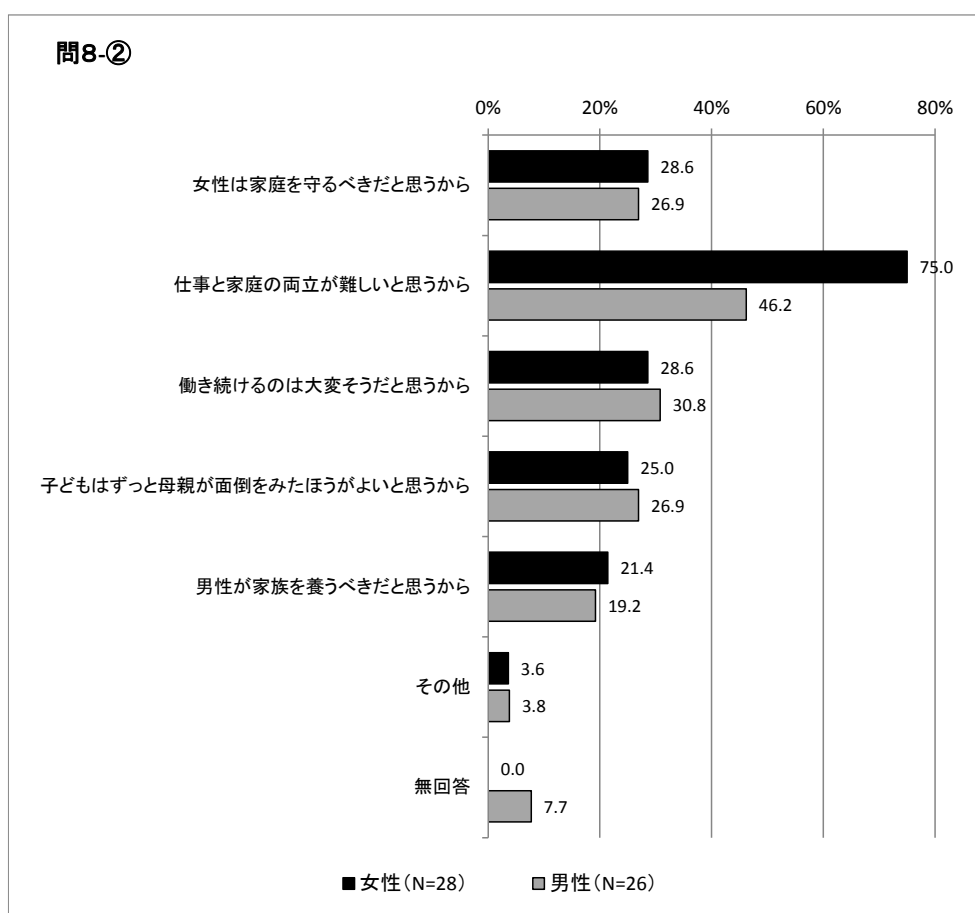
父がいないから

その他 5件

問8-② それは、どのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

【問8で「結婚や出産するまでの間だけ、職業を持つほうがよい」や「女性は職業を持たないほうがよい」と回答した人】

女性が職業を持つことに否定的な理由は、男女とも「仕事と家庭の両立が難しいと思うから」(女性 75.0% 男性 46.2%) が最も高いが、女性は男性より 28.8 ポイント高い。次に高い「働き続けるのは大変そうだと思うから」(女性 28.6% 男性 30.8%)、「女性は家庭を守るべきだと思うから」(女性 28.6% 男性 26.9%) は、男女の差がない。



中学生 問8-② その他回答

そのようなけいけんをした方がよいと思うから

子どもが小さい間は一緒にいてあげてほしいから

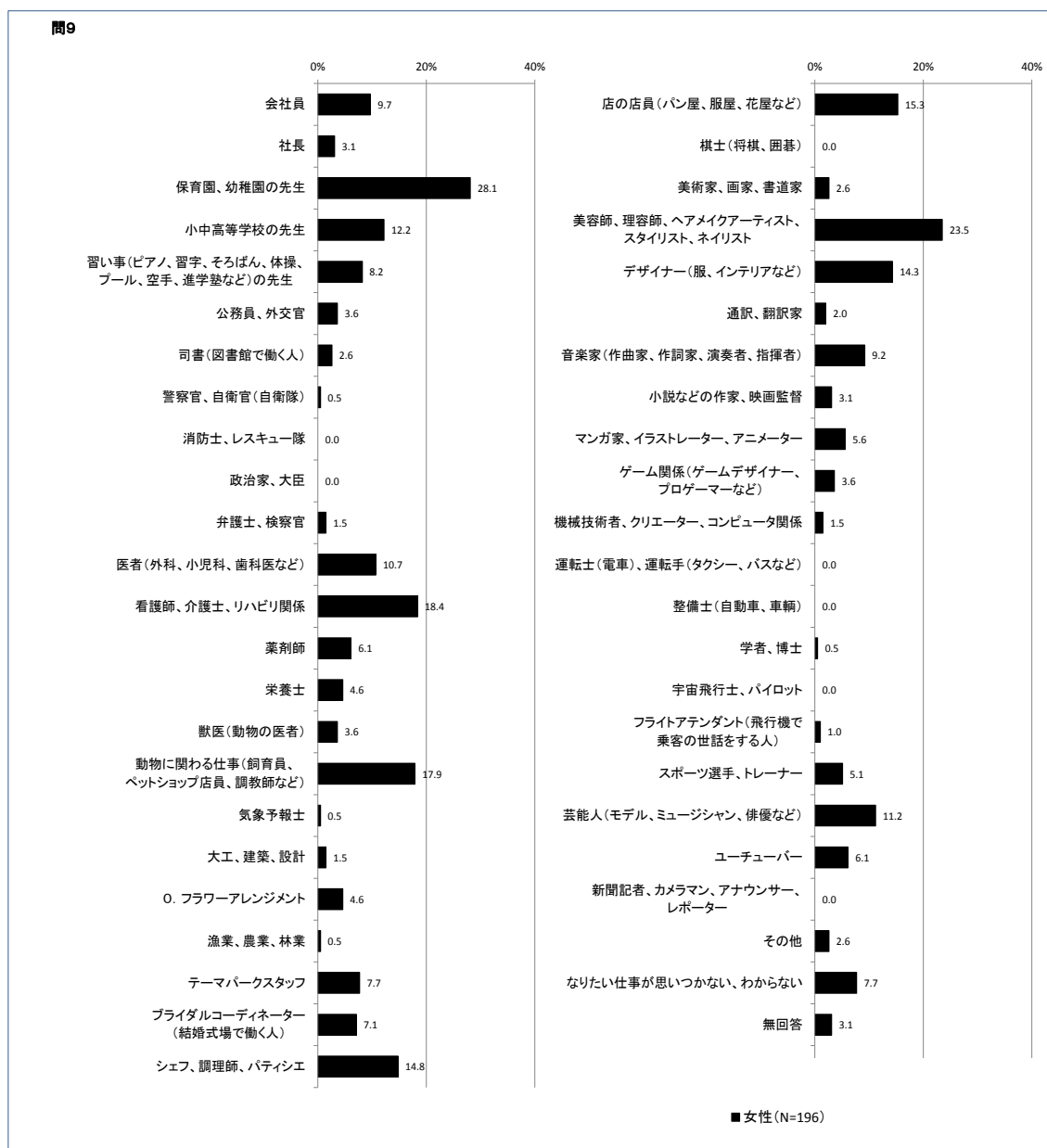
問9 あなたは、将来どのような職業につきたいと思いますか。

(〇は5つまで)

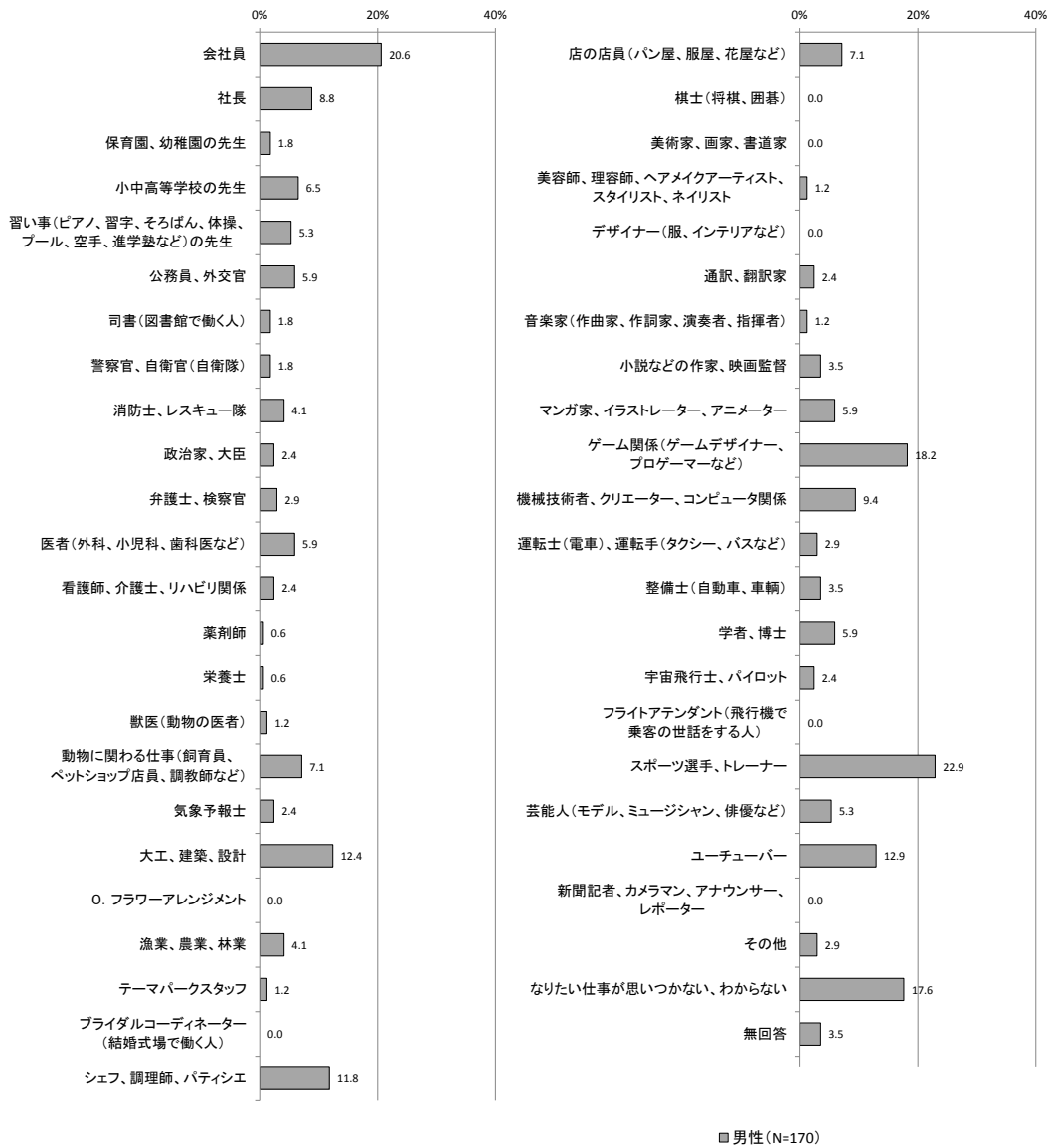
女性は、「保育園、幼稚園の先生」28.1%、「美容師、理容師、ヘアメイクアーティスト、スタイリスト、ネイリスト」23.5%、「看護師、介護士、リハビリ関係」18.4%、「動物に関わる仕事(飼育員、ペットショップ店員、調教師など)」17.9%である。

男性は、「スポーツ選手、トレーナー」22.9%、「会社員」20.6%、「ゲーム関係(ゲームデザイナー、プロゲーマーなど)」18.2%である。

「なりたい仕事が見つからない、わからない」は、女性7.7%、男性17.6%で、男性は女性より9.9ポイント高い。



問9



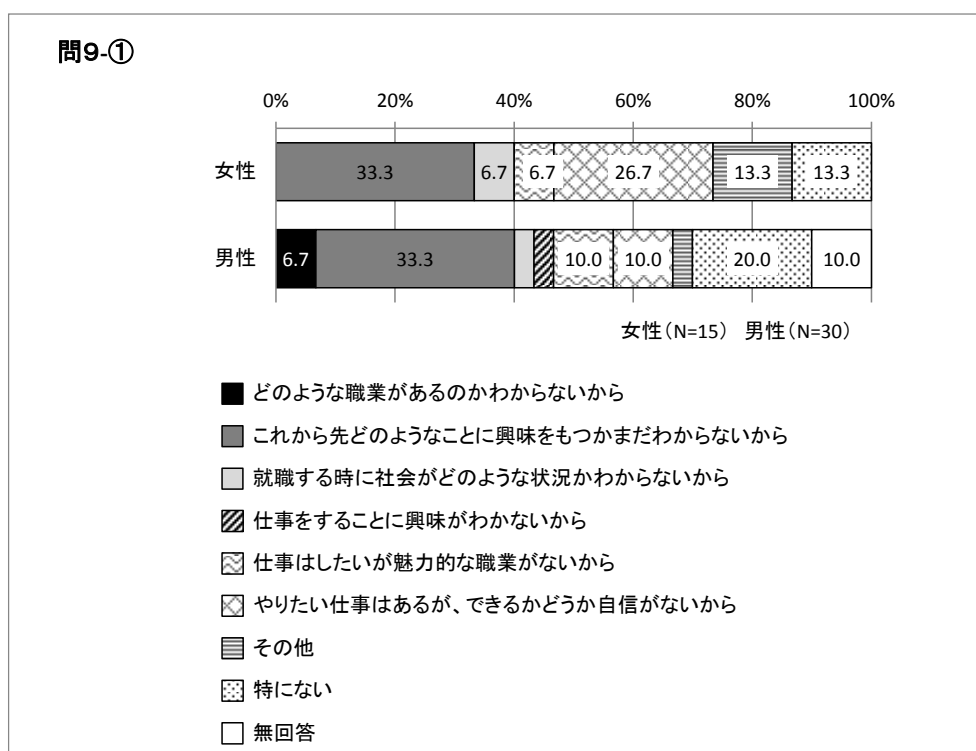
中学生 問9 その他回答	
I T関係	車掌(電車)
USJの店員	手話を使う仕事
ダンサー	声優(他1件)
ボートレーサー	太鼓を世界に広める
レーサー	電気工事士
ワイルドライフマネージャー	

問9-① それはどのような理由からですか。

【問9で「なりたい仕事が見つからない」または「わからない」と回答した人】

男女とも、「これから先どのようなことに興味をもつかまだわからないから」女性 33.3%、男性 33.3%で最も高い。

次に高いのは、女性は「やりたい仕事はあるが、できるかどうか自信がないから」26.7%であるが、男性では「特にない」20.0%である。



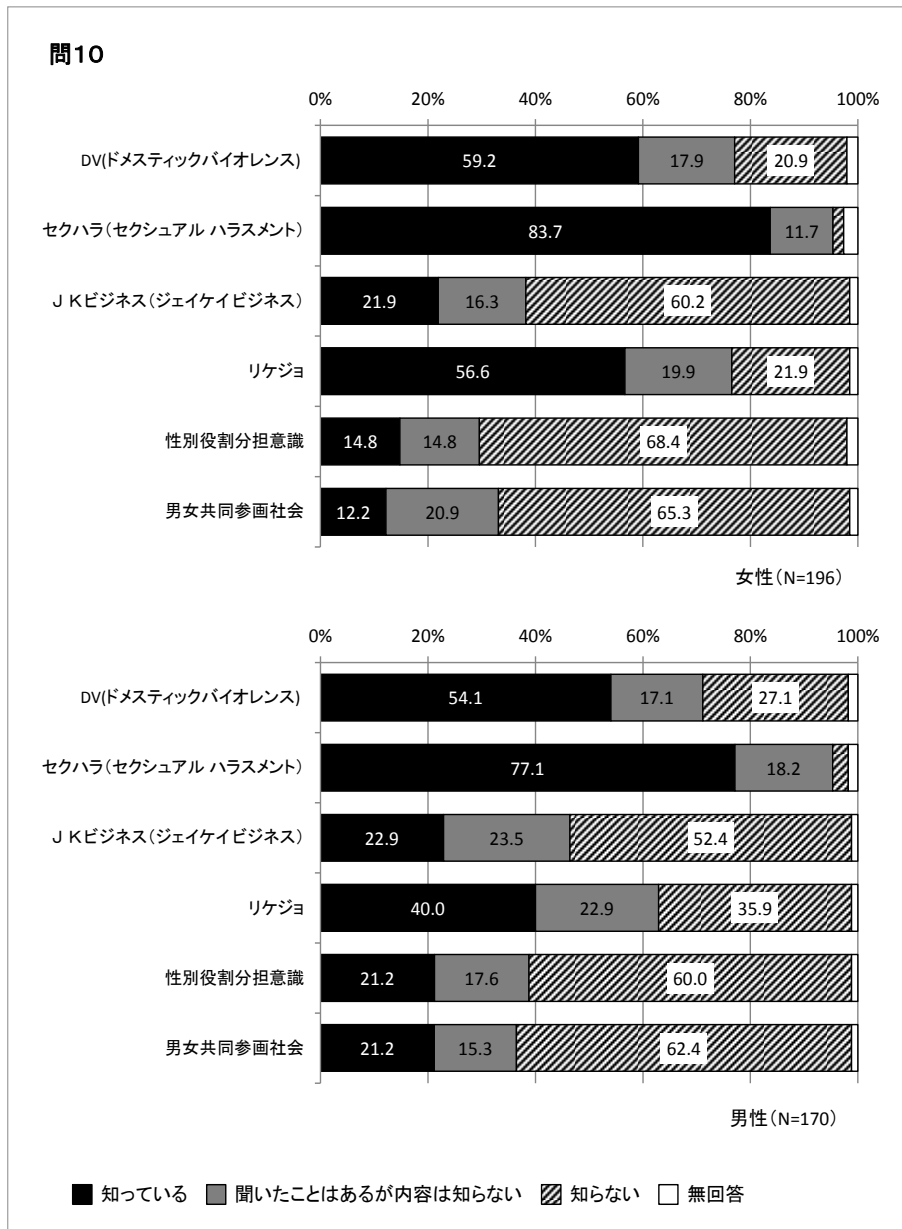
中学生 問9-① その他回答
この仕事はどういうことをするのか、とかが分からないから
働きたくない
夢がないから

3. 用語について

問10 あなたは、次の言葉を知っていますか。

「知っている」割合が高いのは、「セクハラ（セクシュアル ハラスメント）」（女性83.7%、男性77.1%）で、男女ともよく認知されている。「DV（ドメスティックバイオレンス）」（女性59.2%、男性54.1%）、「リケジョ」（女性56.6%、男性40.0%）も認知率が高い。

しかし、「JKビジネス（ジェイケイ ビジネス）」（女性21.9%、男性22.9%）、「性別役割分担意識」（女性14.8%、男性21.2%）、「男女共同参画社会」（女性12.2%、男性21.2%）では、男女とも認知率は低い。

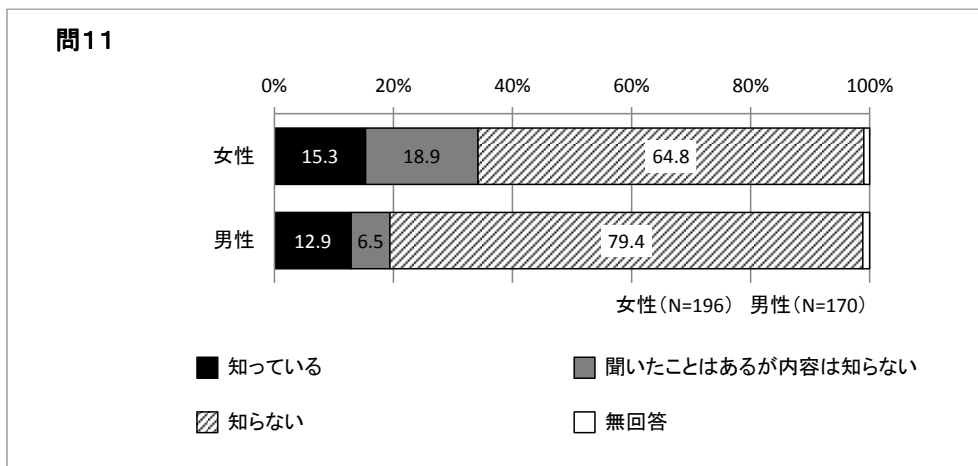


4. デートDVについて

問11 あなたは、「デートDV」について知っていますか。

男女とも「知らない」が女性 64.8%、男性 79.4%と最も高い。

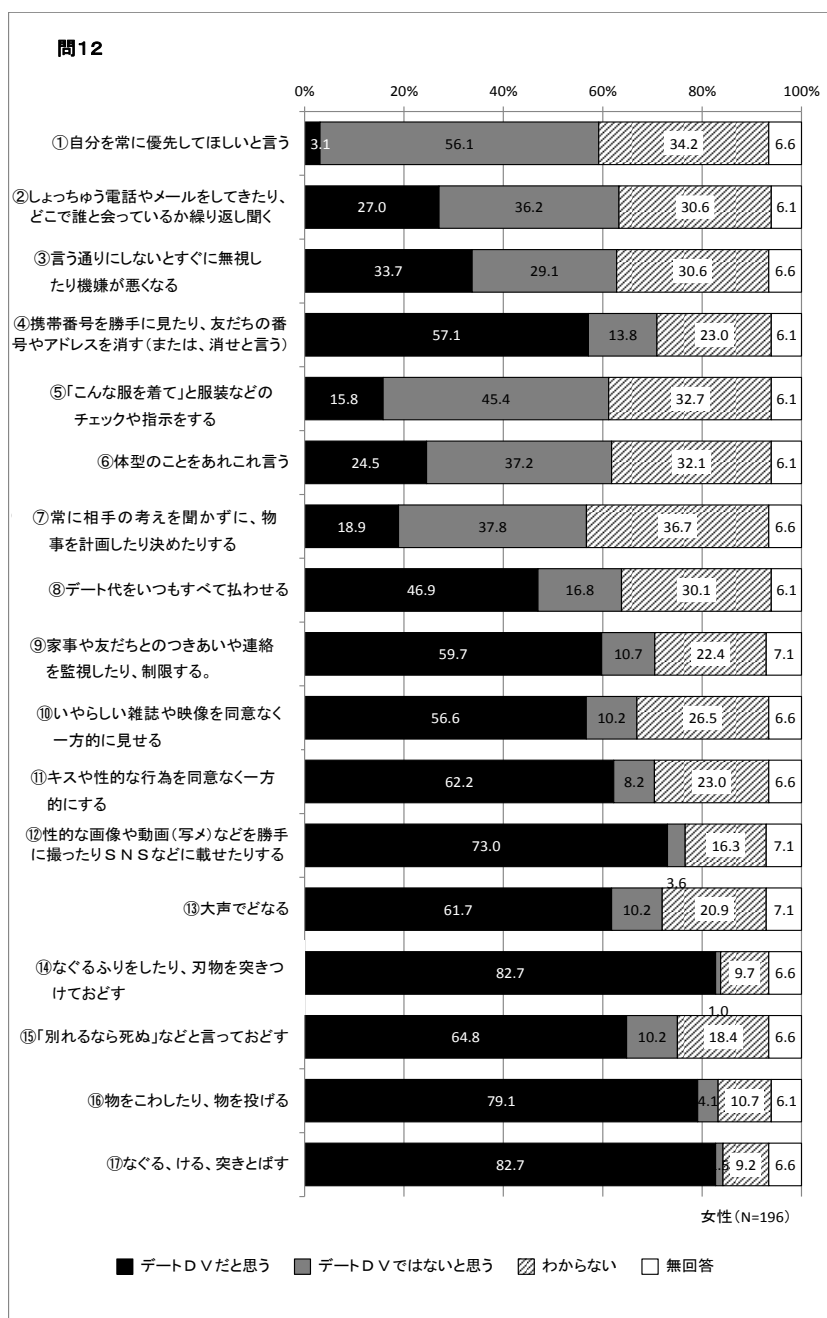
「知っている」は女性 15.3%、男性 12.9%と少なく、「聞いたことはあるが内容は知らない」は女性 18.9%、男性 6.5%で女性の方が 12.4 ポイント高い。



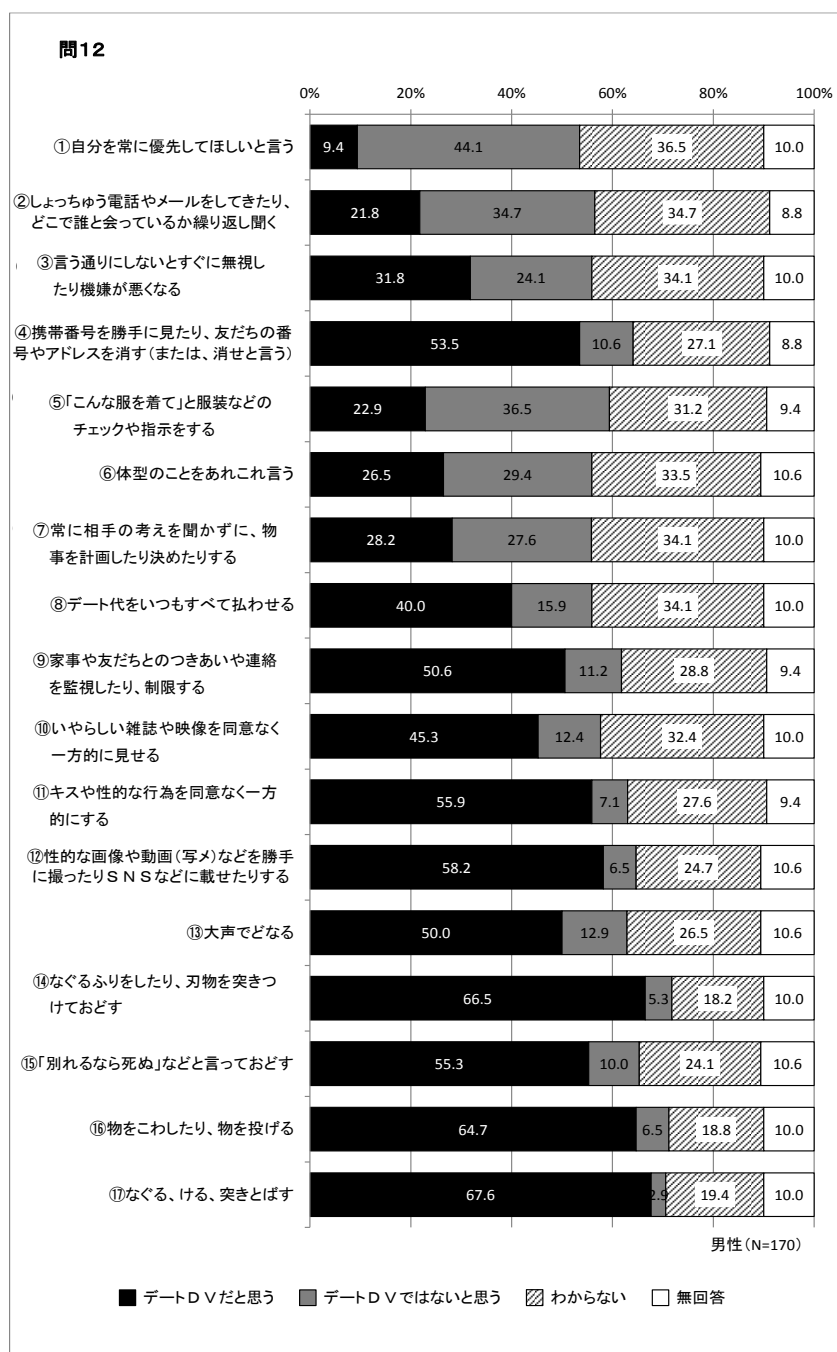
問12 恋人の間で次のようなことが行われた場合、あなたはどのように思いますか。

「デートDVだと思う」の高いものとして、「⑰なぐる、ける、突きとばす」女性82.7% 男性67.6%、「⑭なぐるふりをしたり、刃物を突きつけておどす」女性82.7% 男性66.5%、「⑯物をこわしたり、物を投げる」女性79.1% 男性64.7%、「⑫性的な画像や動画(写メ)などを勝手に撮ったりSNSなどに載せたりする」女性73.0% 男性58.2%などといった身体的、精神的、性的な暴力行為があげられる。

全体的に女性に比べて、男性の意識が低い傾向にある。



また、「①自分を常に優先してほしいと言う」女性 3.1% 男性 9.4%、「⑤「こんな服を着て」と服装などのチェックや指示をする」女性 15.8% 男性 22.9%、「⑦常に相手の考えを聞かずに、物事を計画したり決めたりする」女性 18.9% 男性 28.2%、といった社会的な暴力行為については、デートDVと判断した割合は低い。

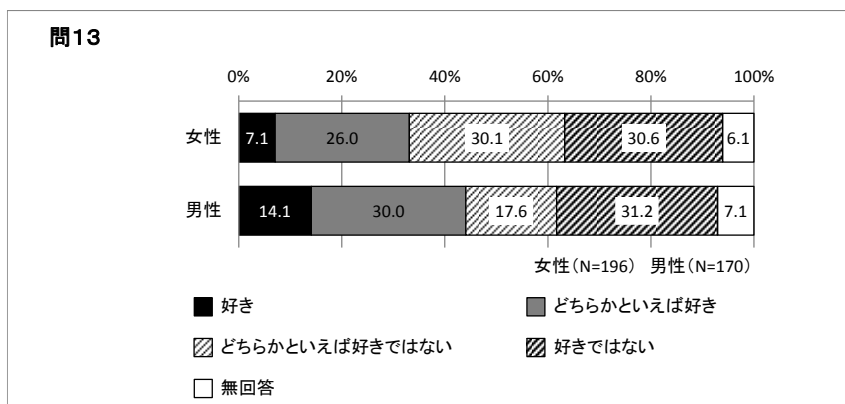


5. 自分への評価について

問13 あなたは、自分のことが好きですか。

女性では、「好き」7.1%と「どちらかといえば好き」26.0%を合わせると33.1%で、「どちらかといえば好きではない」30.1%と「好きではない」30.6%を合わせると60.7%で、否定の割合は肯定の約2倍である。

男性では、「好き」14.1%と「どちらかといえば好き」30.0%を合わせると44.1%である。「どちらかといえば好きではない」17.6%と「好きではない」31.2%を合わせると48.8%で、ほぼ同じ割合である。

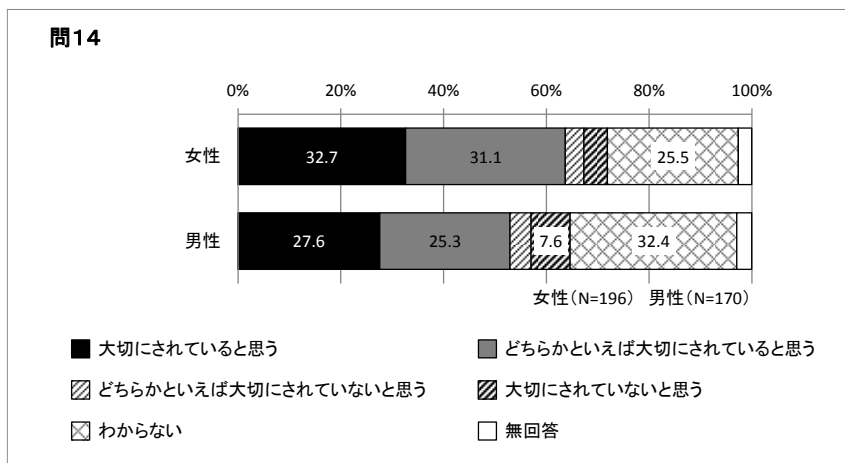


問14 あなたは、周りのおとなから大切にされていると思いますか。

女性では、「大切にされていると思う」32.7%と「どちらかといえば大切にされていると思う」31.1%を合わせて、63.8%が大切にされていると感じている。

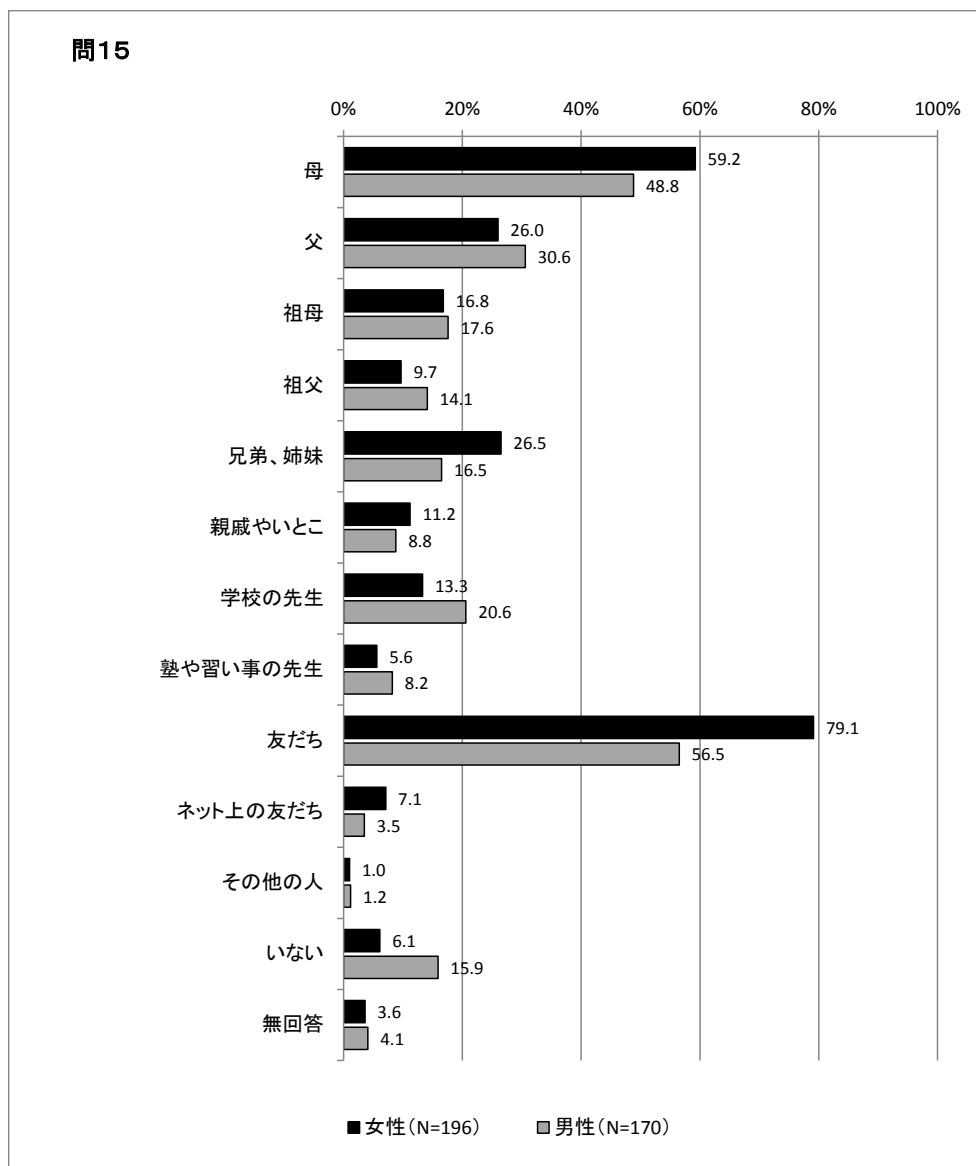
男性では、「大切にされていると思う」27.6%と「どちらかといえば大切にされていると思う」25.3%を合わせて、52.9%が大切にされていると感じている。

女性は、男性よりも大切にされていると思う割合が10.9ポイント高い。



問15 あなたに悩みや心配事がある時、相談できる人はいますか。
(あてはまるものすべてに○)

女性では「友だち」が79.1%で、「母」59.2%、「兄弟、姉妹」26.5%である。
男性では「友だち」が56.5%で、「母」48.8%、「父」30.6%である。



中学生 問15 その他回答

近所の人

その他1件

6. 自由記入

問 16 あなたは現在、自分が男性または女性に生まれたことをよかったと思いますか。その理由も記入してください。

「自分が男子または女子に生まれたことをよかったと思いますか。」の問いに対して、279 人が回答している。

「よかったと思う」37.3%と肯定する意見がある一方で、「～生まれてよかったか。」に対し無回答で、その理由もまた無回答である意見も 32.8%あり、その差はほぼ無い。

中学生

問16 あなたは現在、自分が男性または女性に生まれたことをよかったと思いますか。その理由も記入してください。

	よかったと思う	どちらとも言えない	思わない	問11の「～生まれてよかったか。」に「わからない」等・無回答であるが、その理由は回答している	問11の「～生まれてよかったか。」に無回答で、理由も無回答	合計
合計件数	149	30	34	56	131	400
構成比 (%)	37.3	7.5	8.5	14.0	32.8	100.0

表 理由の内容を表示している件数

	よかったと思う	どちらとも言えない	思わない	問11の「～生まれてよかったか。」に「わからない」等・無回答であるが、その理由は回答している	問11の「～生まれてよかったか。」に無回答で、理由も無回答	合計
理由表示 (件)	6	3	1	2	-	12
理由非表示 (件)	143	27	33	54	-	257

主な理由

「よかったと思う」

この世界は平等で、どちらで生まれても楽しくらせると思うから
男性はこうだから、女性はこうだからと考える必要がないからです
女性の方が生理や出産などで体力が必要だったり、男性より弱いとは思うし「女性だから」と言われたりもするが、あまりそれを思わすような環境じゃないから。みんな優しくしてくれるから

生まれてくることに意味があるから
今、女性に生まれてきてとてもよかったと思うけど、男性でも生まれてきたことはいっしょだから
男性は筋肉をつけてもめだたせるだけやけど、女性がつけたらへんな目でみられるから

「どちらとも言えない」

理由はどちらの性別でも自分らしく楽しく生きたら良いと思うから
男なら男の人生だし、女なら女の人生で歩むから、べつになんともおもいません
どちらもだいたい同じぐらいに大変なことがあるので、どっちでもいいなと思うので

「思わない」

よかったことはみんなからやさしくされる。いやなことは「女の子やろ？」と言われること

「わからない、回答が未記入」

生まれただけでもよかったと思う。男女どちらでも人生楽しいと思う
これから何があるかわからないから。そう思うときと思わないときがあるから